

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

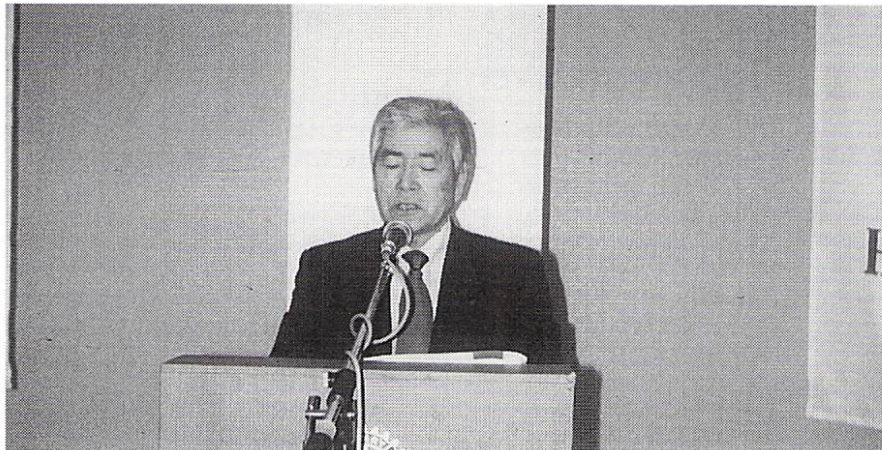


2006~07年度
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ

— 今、出来る事から始めよう —



2月21日卓話 松見 修二 会員

《第2095回例会》 第32号 2月28日(水)

本日のプログラム

卓話「最新鋭のがん検査装置PET-CTについて」

函館五稜郭病院PETセンター センター長 梶 智人 氏

★会 長 柴 崎 晃 ★幹 事 山 下 清 司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

5. 常任委員会

資料省略

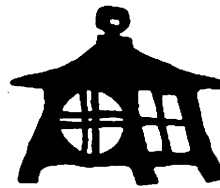
6. 利 点

- クラブの将来について、全ての会員に意見を述べるチャンスが与えられる
- クラブ運営を簡素化することによって、奉仕と親睦に集中するためのより多くの時間を会員に与える
- クラブ会員がより一層関与することによって、将来のクラブ及び地区指導者が育成される。
- クラブ活動に会員がより多く参加するにつれ、会員保持率が高くなり、退会防止につながる。
- クラブ指導者はクラブ目標を達成するために、より多くの会員の協力を得る事が出来る。

(会報担当者：竹谷 満 委員)

◆純和風造り◆

ゆっくりくつろげる憩いの宿
季節の味覚と心あたたまるサービス



湯の川温泉

旅館 一乃松

函館市場の川町1丁目3番17号
TEL(0138)57-0001(代) FAX(0138)57-3666

(広告掲載：松橋 博 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎2月7日出席報告

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	28名	当日欠席	2名
他クラブ出席	1名	出席合計	29名
出席率		96.67%	

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・3月7日
プログラム

卓話「今時景気局面の特徴と企業経営について」

日本銀行函館支店 支店長 服部 誠弘 氏

2月21日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長 ◎斉 唱 手に手つないで、四つのテスト

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○10・11グループのIMが17日に開催されました。当クラブは21名出席しました。

◎委員会報告

●友好クラブ委員会 増田 定雄 委員長

台北東北ロータリークラブより創立25周年開催の案内がありました。3月10日午後6時よりファースタンホテルにて、参加人員 会員17名・奥様10名・ゲスト16名、計43名です。

●クラブ奨学会委員会 南木 哲雄 委員長

遺愛高校の種田夢乃さんより近況報告の手紙がまいりました。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

- 函館セントラルR.C. 3月6日夜間例会に変更です。
- 来週の早朝例会は通常例会です。
- 台北東北ロータリークラブより会報が届いています。

◎親睦活動委員会

ニコニコBOX投入報告

柴崎 会長……松見会員の卓話キタイしています。

山下 幹事……BOXに協力。

小笠原会員…… ”

松見 会員……本日卓話です。

佐々木会員……BOXに協力。

薮下 会員……松見さん卓話よろしくお願いします。

石橋 会員……BOXに協力。

中川 会員……月始めです。

◎卓話「ロータリー創立記念日に因んで」 松見 修二 会員

〈クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)〉

1. 経 緯

- 世界的にクラブ数の増加
- 1クラブ単位の会員数の減少
- 地区リーダーシップ・プラン(DLP)・・・1992年提案(ガバナー補佐)地区指導者の育成
- ガバナーの地区管理機構を補助する・・・2002年実施
- 会員数の減少によってクラブ機能が喪失する
- 03～04 CLPが6ヶ国、18クラブで試行・・・有効性が立証されRI理事会で了承された。

2. 目 的

- クラブ指導者の育成
- 少数会員クラブ機能の回復・・・20名以下
- 少数会員クラブでも『人道的奉仕活動をするボランティア組織』として持続させる。

3. 指 針

- 各委員会(常任委員会)の統廃合・・・1会員が複数の委員会委員長の兼務を防ぐ。
- 四大奉仕(理事)の基に五常任委員会を設置する・・・クラブの規模によって異なる。
- クラブのアイデンティティー(特性)に沿った計画の立案・・・長期、短期
- 常任委員の継続性・・・3年のローテーション
- 地区との情報伝達(DLPの活用)
- クラブ細則をクラブの現状に合わせたものに策定・・・毎年見直し。

4. 効果的なクラブ要素

● クラブ・リーダーシップ・プラン

クラブ・リーダーシップ・プランの目的は、効果的なクラブの管理の枠組みを提供することにより、ロータリー・クラブの強化を図ることです。以下は、効果的なクラブの要素です。

- 会員基盤を維持、拡大する。
- 地元地域社会ならびに他の国々の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施、成功させる。
- 資金の寄付およびプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する。
- クラブの枠を超えてロータリーにおいて奉仕できる指導者を育てる。

クラブ・リーダーシップ・プランを実施するには、現任、次期、元クラブ指導者は以下を行うものとされます。

1. 効果的なクラブの要素に取り組む長期計画を立案する。
2. 「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」を使用して、クラブの長期計画と合致した年間目標を設定する。
3. 計画過程に参加する会員を含めてクラブ協議会を実施し、ロータリーの活動に関する情報を伝える。
4. クラブ会長、理事会、委員会委員長、クラブ会員、地区ガバナー、ガバナー補佐、および地区委員会の中に明確な意思疎通が図られるよう確認する。
5. 将来の指導者育成を確実にする一貫した引継ぎ計画の概念を含め、指導者の継続性を確保する。
6. クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、細則に修正を加える。
7. クラブ会員の親睦をさらに深めるような機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するよう計らう。
9. 以下を確実にするための包括的な研修を企画する。
 - クラブ指導者が地区研修会合に出席する。
 - 新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的の実施する。
 - 現存会員のための継続的教育の機会を提供する。

地区リーダーシップ・プランに提示されているように、クラブ指導者は、地区指導者と相談しながらクラブ・リーダーシップ・プランを施行するものとされます。同プランは、毎年見直しが行われるべきです。

クラブ委員会

クラブ委員会は、四大奉仕に基づくクラブの年間目標および長期目標に向けた取り組みを担当します。会長エレクト、会長、直前会長が協力し、指導の一貫性と計画の継続性を図らなくてはなりません。可能であれば、継続性を図るため、委員会委員は3年を任期として委員会に任命されるべきです。会長エレクトは、空席を埋めるための委員、および委員長を任命し、年度の開始に先立って計画を立てるための会合を実施する責務があります。委員長は、同じ委員会の委員を務めた経験を備えた人物であることが推奨されています。常任委員会は以下の通りに任命されるものとされます。

- **会員増強委員会**
会員の勧誘と退会防止の包括的計画を立案、実施します。
- **クラブ広報委員会**
ロータリーに関する情報を一般の人々に提供し、クラブの奉仕プロジェクトや活動を推進するための計画を立案、実施します。
- **クラブ管理運営委員会**
クラブの効果的な管理運営に関する活動を実施します。
- **奉仕プロジェクト委員会**
地元社会や他国の地域社会のニーズを取り上げた教育的、人道的、職業的プロジェクトを立案、実施します。
- **ロータリー財団委員会**
財政的寄付およびプログラム参加の両面からロータリー財団を支援するための計画を立案、実施します。

必要な場合は、この他の委員会を任命することもできます。

研修の要件

クラブ委員会委員長は、職務に就任する前に地区協議会に出席すべきです。

地区リーダーシップ・プランとの関係

クラブ委員会は、ガバナー補佐および関連する地区委員会と協力すべきです。

報告要件

クラブ委員会は、活動についてクラブ理事会に定期的に報告すべきであり、適切であれば、クラブ協議会において報告を行います。